

2020年度スローガン

「志士仁人」

～road to connect～

想いを一つに「道徳」と「人の心に残る活動」を繋ぐ道(road)

気鋭通信

Vol.28

気鋭の会
広報委員会
発行



青年部「気鋭の会」
H20.7.15 設立
会員数 60名
(R2.5.1現在)

「気鋭の会」とは・・・
伊東市内の20代から40代までの若手経営者・後継者が「経済人としての資質向上」を図り、「企業と地域経済の健全な発展」及び「商工会議所活動の一翼を担う」という趣旨のもとに集い設立されました。研修会等を通じ経営について研鑽を積んでいます。

会員募集中!

あなたも「気鋭の会」で共に経営を学びませんか!
入会金は不要です。
年会費 24,000円
※年度途中に入会した場合は月割りと異なります

ホームページ・フェイスブック開設しています。

伊東商工会議所青年部・気鋭の会

で検索下さい。
<http://www.ito-cci.or.jp/seinenbu/>



お問合せ
伊東商工会議所 青年部
「気鋭の会」事務局
TEL0557-37-2500
(担当:篠崎・塩谷)

2020年度 会長所信!

2020年度 会長所信!



会長 佐々木伸一
design space
COLCHE

伊東商工会議所は2008年に青年部「気鋭の会」を発足しました。

発足から12年、私たち「気鋭の会」は伊東市内外において広く積極的に活動を行って参りました。

私は昨年度まで「気鋭の会」の副会長を務めさせていただき、「気鋭の会」の内部には活動から得られた有益な情報が多く存在するにも拘わらず、その一部が埋もれてしまっていることに気づきました。

例えば、全国商工会議所青年部組織YEGの渉外活動で得られた情報は、理事会や一部の会員には認知されているものの全ての会員に行き届いていませんでした。

また、各委員会での決定事項に要した意見や検討内容の詳細情報も他の委員会メンバーまでは、あまり共有されていませんでした。

これらの情報は素晴らしく、伊東市を

活性化させるためにとでも役に立つ情報であると感じています。

本年度の会長を務めさせていただくにあたり、私は「気鋭の会」の委員会組織構造を変革して、内部情報を流動化し、積極的に外部に発信できる仕組みづくりを進めていきたいと考えています。

具体的には、これまで会長の下で一括して構成されていた各種委員会を、機能性を高めるために「内部委員会」と「外部委員会」に分割します。

内部委員会ではBIPをはじめとした市内での活動や研修・育成・政策提言などをこれまで以上に注力します。

外部委員会では「気鋭の会」内部から出た意見や決定事項、市内外の渉外活動から得られた情報を広報委員会が一括して収集・管理します。

そのうえで広報委員会は管理した情報を会員へフィードバックし、外部へ積極的に発信していきます。

私は気鋭の会からの情報発信が、豊かな自然環境に恵まれたあたたかい伊東市民の素晴らしさを市内外に伝える役割を果たしてくれることを期待します。

昨今、日本全体の人口減少に伴い、伊東市でも労働人口の減少や市場の縮小が問題視されています。

この問題を解消する方法を探るべく、本年度「地域V字回復委員会」を新設します。

地域V字回復委員会の活動と同時に情報の流動化と活性化を行うことによつて、

伊東市出身の若者たちに伊東市の働きやすさや生活しやすさを再確認していただき、地元へUターンして活躍できる人材に育つて貰えれば大変嬉しいことだと期待しています。

また、都会から訪れるお客様には、伊東市の城ヶ崎海岸や大室山などのジオパークとして認定された自然、そして豊富な湧出量を誇る温泉のみならず、豊かな自然環境に恵まれたあたたかい伊東市民と触れ合うことで心の癒しを感じていただきたいと願っています。

中小企業家でもある私たち青年経済人は、次代の先導者としての一翼を担うべく、個の意識を高めながら、志を1つに伊東の未来を牽引する力を持った集団(団体)へと成長を遂げなければならぬと思います。

2020年度の「気鋭の会」では「自己研鑽」「地域貢献・交流」を軸に活動し、青年経済人としての使命を与えられるだけではなく感じ取って行動し、「当たり前」に感謝し、伊東の地域の豊富な自然や人の魅力を市内外へと幅広く発信してまいります。

最後に、私はこの1年間を「志士仁人」road to connectのスローガンを胸に、伊東と全国を繋ぐ道(road)を創るために柔軟かつ確固たる決断力で行動していくことを表明します。

皆さまのご協力をお願いいたします。

オープンセミナー

【研修委員会】

1月15日(水)
オープンセミナーを伊東商工会議所にて開催しました。

小林めぐみ氏(EBN)の合同会社代表社員 キヤリアコンサルタン(ト)と、熱海市役所経済産業課長 谷川智志氏のお二人をお招きし、「地元愛から地域愛へ」近隣地域から学ぼう街の魅力再発見!!」と題した講演をいただきました。



日本YEG全国大会

ふじのくに静岡ぬまづ大会

2月19日(水)〜23日(日)
日本商工会議所青年部第39回全国大会「ふじのくに静岡ぬまづ大会」が開催されました。

全国大会は毎年、YEGとしての交流と研鑽を目的として開催されております。

全国大会には日本全国から7千人以上のYEG会員が集結し大懇親会、記念式典等のほかに県内の会員企業が出店する物産展も行われました。

他に県内のYEGも各地域の特色をアピールする分科会を開催しました。



全国大会伊東分科会

【分科会実行委員会】

気鋭の会がおもてなし

2年2月20日(木)21日(金)の2日間にわたり日本商工会議所青年部第39回全国大会に併せ、気鋭の会では「創意と工夫で魅せる1泊10発の伊東」をテーマに分科会を開催しました。

全国から多くのYEG会員の方に参加していただき、分科会1日目には城ヶ崎海岸や伊豆ぐらんぱる公園を観光し、ぐらんぱるぼーとの会場にて懇親会を行いました。



2日目には東海館でお座敷文化に触れ、ホテル・サンハトヤにて金目鯛などの地元食材を食していただきました。

お越しいただいたYEG会員に伊東の街の魅力を伝えられ、また気鋭の会メンバーも全国のYEG会員との交流を深める分科会となりました。

分科会活動報告



大須賀隆司
分科会実行委員長

全国大会の大きな目的は「交流と研鑽」です。

今回の伊東分科会では、全国から地域経済を牽引する多くの青年経済人にご参加いただきました。

なかでも姉妹都市でもある長野県諏訪市や歴史的背景や気候風土などに共通性をもった宮崎県日南市などから多くの方にお越しいただき、交流を深めることができました。

この日のために1年以上かけて準備をしてきた過程と当日の設営により、私たちが「伊東市の魅力」を再発見できたこと、商売をするうえで大切な「おもてなしの心」など多くの気づきを得ることができました。

政策提言手交式

【政策提言委員会】

3月27日(金)

伊東市役所市長室にて政策提言書の手交式を行いました。

本年度の政策提言のテーマは「空山計画」アキヤマプロジェクト」市内にある放置された山林に着目をし、伊東ならではの温泉と海を組み合わせた山林の活用を軸に作られました。

温泉での活用は「湯のまちセラピー」と題し、山林と温泉と浴衣を融合し、森林浴セラピーと写真映えスポットを作る事が目的です。

海での活用は木材を利用して「漁礁」を作り、将来の漁獲量増加と、ダイビングスポットとしての活用が目的です。

我々青年経済人と行政がどのように空き山の活用が出来るかを真剣に捉え、未来へと繋げていけるかを考える内容になっています。

